自筆で味わう柳田国男の世界

はじめての遠野物語



**講師**　『柳田國男全集』編集委員

　小田 富英

柳田国男が明治43年(1910)に世に出した『遠野物語』は、百年以上経った今も色あせることなく、名著として読み継がれています。その魅力は、遠野盆地のなかで渦巻いて語られていたその当時の話が、読み手である困難な時代を生きる私たちの個別の課題にどのようにでも向き合ってくれることにあります。柳田国男が書き残してくれた119の話を、毎月一回3～5話ずつ種類別に分けて読み進めます。テキストは、遠野の人佐々木喜善から聞き、本にするために書いた柳田自筆の毛筆稿本と刊本（文庫本）を使います。柳田の息づかいが聴こえてくるような毛筆原稿を読み、刊本や、喜善が語ったであろう話、間に入って聞き 書きした水野葉舟の記述などと比べながら、『遠野物語』に潜む柳田の思いを考えていきます。私たちが捨て去ってきたり、忘れかけたりしている日本人の心持ちをこの書のなかから探してみませんか。　（講師記）

柳田国男自筆『遠野物語』毛筆稿本

　99話三陸大津波の話の頁

≪講座スケジュール≫

第１回(10/27)　山男・山女・神隠し・マヨイガの話
第２回(11/24)　親殺し・嬰児殺しの話
第３回(12/22)　オシラサマ・ザシキワラシの話
第４回(1/26) 　熊・狼・鳥の話
第５回(2/23)　 魂の行方・悲しみの伝承の話
第６回(3/23)　「遠野物語　序」が投げかける問題

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　※講師紹介は裏面をご覧ください。

■日 　時　　2017年　10/27、11/24、12/22、1/26、2/23、3/23　　6回

金曜10:30～12:00

■受講料　　6回　会員16,848円

　　　　　　　　（入会金は税別5,000円。70歳以上は入会金無料、証明書が必要です。）

■場　 所　　ルミネ立川9階（立川駅北口）

※講師の病気、受講者が一定人員に達しない場合などに、講座を延期または中止することがあります。

※お申し込みの際にご記入いただく皆様の個人情報は、受講連絡をはじめ当社からの各種お知らせ、

講座企画の内部資料として使わせていただきます。

《講師紹介》　小田　富英（おだ・とみひで）

東京学芸大学卒。３６年間東京都公立小学校教員を勤めた後、作新学院大学特任教授を経て、現在『柳田国男全集』編集委員・日本地名研究所『地名と風土』編 集長・常民大学運営委員・全面教育学研究会会員など。共著：『柳田国男伝』(三一書房)、『柳田国男事典』(勉誠出版)、『犯罪の民俗学２』(批評社)、 『口語訳　遠野物語』(河出文庫)他。論文：「初稿本『遠野物語』の問題」(『国文学』)「野に生きる　水野葉舟論」(『伊那民俗研究』)、「平地人とは 誰か」(『遠野学』)など多数。

現在、次回配本予定の『柳田国男全集　別巻Ⅰ』所収「柳田国男年譜」を作成中。また『地名と風土』で「地名学習のすすめ」を連載中。